

平成20年度の主な事業・予算

事業名	予算額
生「やる気と活気」 やる気を応援し、活気あふれる都市空間と新しい地域経済をつくるまちづくり	
地域経済活性化(るもい元気づくり)助成事業	200万円
ものづくり、新商品開発、起業支援など地域のやる気を応援する各事業に助成します	
住宅改修促進(リフォーム助成)事業	500万円
建築業の振興と住環境整備のため、リフォーム経費の一部を助成します	
南9条橋現況調査事業	447万円
老化に対する補強対策に向けた現況調査を実施します	
道路整備事業	1億2,665万円
高齢者、障害者に配慮した生活道路整備を進めます(整備箇所は以下のとおりです)	
優「思いやりと安心」 思いやりとコミュニティで安心して健康に暮らせるまちづくり	
コミュニティセンター改修事業	74万円
実施箇所:港西コミセン(屋根破損)・港南コミセン(誘導灯本体取替)	
妊産婦健診の公費負担拡大事業	572万円
妊婦一般健診を1回・5回、超音波検査を年齢制限なく全員対象に1回公費負担します	
地「自然と資源」 自然の恵みを活かし資源を大切にするまちづくり	
玄米用色彩選別機導入事業	534万円
安心安全な良質米を提供するため、JA南のれいが機械購入する経費の一部を負担します	
沿岸漁業振興対策事業	60万円
新星マリン漁協が実施するウニの増殖、消費拡大、調査研究等に事業支援します	
共同調査試験研究事業	80万円
道東海大学、新星マリン漁協、市との産学官連携により、栽培漁業の共同試験を行います	
守「暮らしと安全」 機能的な生活基盤で安全で清潔な暮らしを守るまちづくり	
配水施設整備事業(水道事業会計)	2,100万円
老化が進む沖見町配水場を整備します	
公営住宅ストック総合改善事業(旭町団地)	2,028万円
老化が進む公営住宅の外部改修を行います	

今年度の道路整備箇所は以下のとおりです		
道路名	場所	期間(予定)
西5号通り (道路改良、舗装)	千鳥町4丁目 開野さん宅～自衛隊官舎4号棟までの138m	1月下旬～ 11月下旬
早道通り (歩道改修)	末広町1・2丁目 祐川設備さん～武田保険さん、萌州維持さん～ フジオートさんまでの146m	5月上旬～ 7月中旬
南5丁目通り (歩道改修)	錦町2丁目 食道園さん～田中フォトスタジオさんまでの104m	5月上旬～ 7月中旬
開運7号通り (歩道改修)	開運町1丁目 昆鋸刃物店さん～読売センターさんまでの152m	5月上旬～ 7月中旬
北8条通り (歩道改修)	宮園町3丁目 杉本さん宅～山本さん宅までの70m	10月中旬～ 11月下旬
黄金橋 (橋補強)	港町2・3丁目 留萌本線跨線橋 11.7m	5月上旬～ 11月中旬

場所については、若干の変更がある場合もございますので、あらかじめご了承ください。
道路についてのお問い合わせは市役所都市整備課(電話42-2010)まで

(は新規事業、 は継続事業)

事業名	予算額
宝「夢と宝」 人・文化・地域の魅力と夢を育てるまちづくり	
子育て支援事業	50万円
育児不安の解消、相談、親子の遊び場など、子育て支援センターを開設します	
特産品宣伝活動事業	150万円
留萌の特産品の消費拡大を図るため、積極的な宣伝活動を実施します	
観光案内標識整備事業	272万円
「デザイン灯台」「千景台」への誘導看板の充実を図ります	
海のふるさと館利活用プラン開発試験事業	83万円
試験的に「食と観光」の魅力発信拠点施設としての活用、実践を行っていきます	
海「海と港」 海と港、留萌らしさを未来へ繋げるまちづくり	
港湾整備事業	2億5,410万円
留萌港の安全対策及び、ふ頭用地、ふ頭内道路を整備します	
船場公園整備事業	1億1,600万円
市民や観光客が憩う中心市街地と留萌港に隣接した公園を整備します	
信「対話と信頼」 市民との対話による働く市役所づくり	
都市経営システム進行管理事業	9万円
市民満足度の向上と生産性の高い仕事を目指し、第5次総合計画の進行管理を行います	

予算額は、万円未満切捨て。

お問い合わせ
留萌市役所政策経営室
仕事 企画調整課 42-1809
予算 財務課 42-1813

ゼロ予算事業(ゼロチャレンジ)

本年度も特別に予算を計上せず、職員の知恵と労力により、既存の人材や施設などの「資産」や情報発信・ネットワークといった「機能」を活用して組み立てを行って「ゼロ予算事業」を実施しています。

今年度は、新たに次の2つの事業を加えてチャレンジします。

地域医療対策事業

地域医療を取り巻く環境が大変厳しい状況の中、地域としての必要な診療体制、運営形態、地域の負担のあり方や医師会との連携など、地域医療の維持に向けた方策の検討を進めます。

ふるさと応援交流事業

ふるさと留萌への思いを持つ市民、留萌出身者をはじめ、留萌に関心を持つ多くの方にまちづくりや人づくりを支援していただくことにより、魅力的で持続可能なふるさとづくりの実現とその応援の輪を広げていくための諸施策について検討を進めます。

ことしの仕事 ことしの予算

平成20年度

3月の市議会定例会で、高橋市長が市政執行方針を説明し、その実現に必要な仕事と予算が決まります。市は4月から、この予算に基づき様々な仕事に取り組みます。今月は、平成20年度の予算と仕事についてお伝えします。

(市議会(～3/25)において、内容の変更等が生じた場合は、次号にてお知らせいたします。)

市政執行方針の概要

留萌市では、「市民が主役のまちづくり」を掲げ、市政懇談会などを通して、多くの市民の皆さんとの対話を重ねながら、市が直面する様々な課題に取り組んでいます。

地方自治体を取り巻く環境が大変厳しい中、第5次総合計画で掲げた「誇りと満足を目指すまちづくり」を進めるため、将来に向けた持続可能な財政基盤づくりに全力を尽くしながら、本年度は、限られた予算の中で市民の皆さんの健康と地域経済の活性化を最優先に、次の4つの重点的な取り組みを進めていきます。

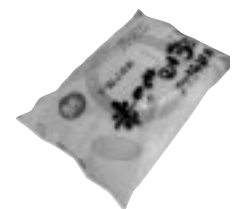
地域資源の活用



豊かな自然をはじめ、先人の営みによって培われてきた文化、新鮮な海産物、高品質な留萌米、日本を代表する「かずのこ」生産により、蓄積された高い技術力や人材など、地域資源をもう一度見つめ直し、地域

一丸となって再構築していく仕組みづくりを進めていきます。

地場産業の支援



元気な商店街、一次産業を支える元気な生産者、地場産品を愛する市民により、活力あるまちを目指すため、各分野の担い手不足の解消や、地域を代表する「留萌ブランド」の創出など、地域経済の活性化に向け、支援を行っていきます。

健康づくりの推進

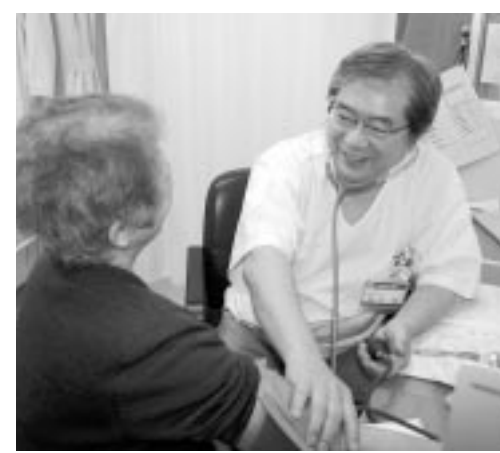


少子高齢化が急速に進行している中、医療費の増加が大きな課題です。いつまでも健康で安心して暮らしていけるよう、健康診断の受診や健康教室の開催を進めながら、健康づくりに対

する市民の意識高揚を図り、予防と健康増進に努めていきます。

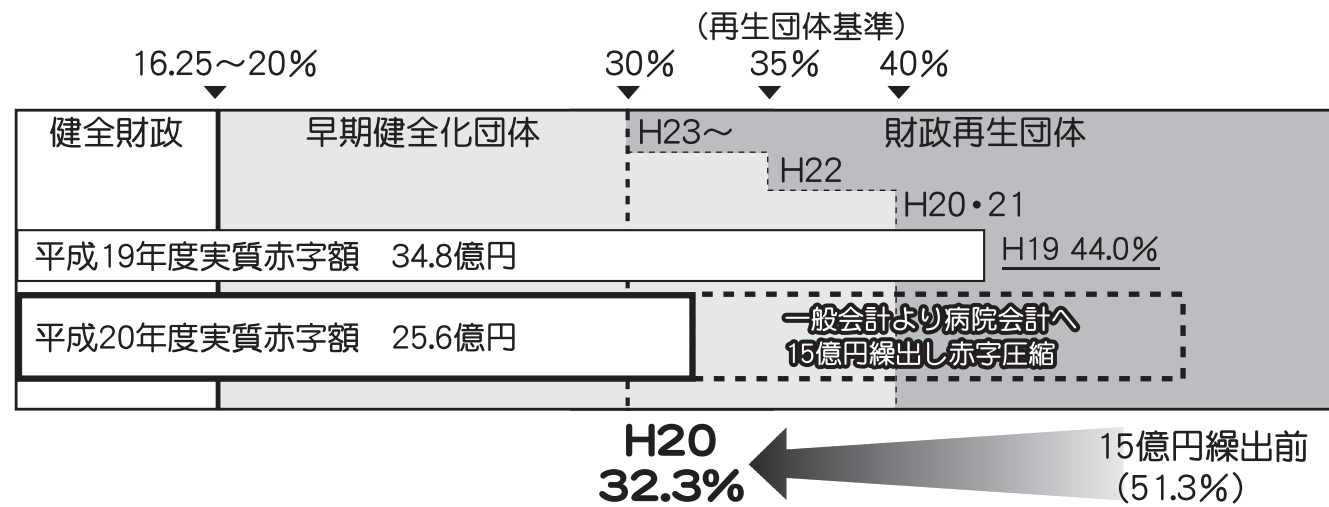
地域医療の確保

近年の医療制度改革の影響により、地域のセンター病院として市立病院を維持することが極めて難しい状況にかかっています。安心して医療を受けられる環境を守るためにも、最大の懸案である病院事業の経営建て直しと、地域で支える医療体制づくりに向けて、全力を尽くしてまいります。



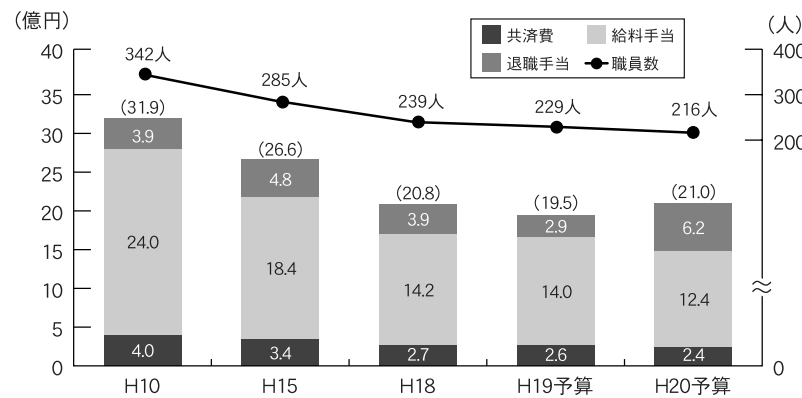
次ページでは、総合計画に掲げる、留萌を彩る6つの基本施策にそって、主な事業、予算を説明します。

平成20年度 留萌市の連結実質赤字比率の引き下げ (当市試算)



平成20年度は多額の不良債務を抱える病院会計へ、一般会計より15億円を繰出し留萌市全体の赤字を圧縮することで、連結実質赤字比率を32.3%まで引き下げます。しかし、平成23年度以降の財政再生団体基準である30%を下回るためには、各会計の更なる経営改善が必要となります。

◆一般職員の給与費と職員数



一般職員の給与と職員数

平成20年度はこれまでの給料7%カットから、期末手当等にも反映させて7~16% (一般行政職平均11.3%) に削減率を上乗せしたこと、退職不補充による職員数の削減により、給与手当等が約1億8千万円減少していますが、退職者数がピークとなり、退職手当が6億2千万円となっていることから、一般職員の給与費全体では、昨年度の当初予算と比較して1億5千万円の増加となりました。

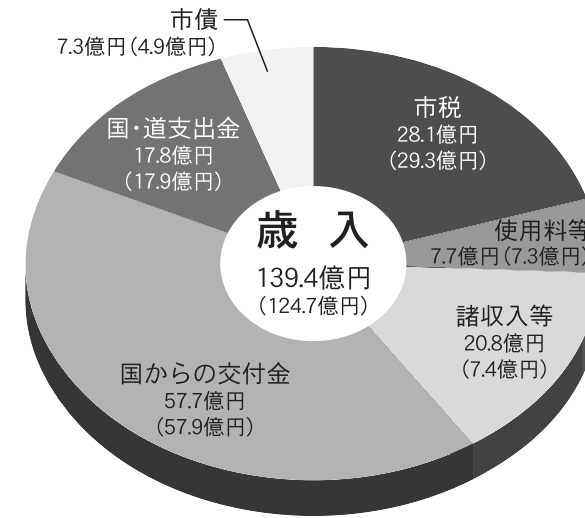
【表2】平成20年度 各会計別予算 (百万円)

会計区分	平成20年度 予算額(A)	平成19年度 予算額(B)	比較 (A-B)	増減率 (%)	赤字額()内は黒字額		市債(借金)残高		
					平成19年度 最終予算	平成20年度 予算額	平成19年度末 見込額	平成20年度末 見込額	
一般会計	13,941	12,469	1,472	11.8	-	-	24,330	23,330	
特別会計	国民健康保険事業	2,983	3,212	229	7.1	424	443	-	-
	老人保健事業	339	3,181	2,842	89.3	-	-	-	-
	後期高齢者医療事業	271	-	271	皆増	-	-	-	-
	介護保険事業	1,565	1,541	24	1.6	-	-	15	0
	港湾事業	319	349	30	8.6	-	-	1,718	1,743
会企計業	下水道事業	2,759	2,050	709	34.6	511	544	10,250	10,164
	水道事業	1,091	879	212	24.1	(332)	(239)	3,741	3,616
	病院事業	6,221	6,516	295	4.5	2,873	1,807	9,200	8,759
合計	29,490	30,197	707	2.3	3,476	2,555	49,254	47,612	

各会計毎に端数処理しているため、合計額と合わない場合があります。

平成20年度一般会計予算

()内はH19予算額



歳入の特徴【 】は昨年度比

市税 個人所得の減少や法人関係の落ち込みなどにより減少【1億2千万円の減】

使用料等 昨年12月に実施した、ごみ処理手数料の引き上げによる増加【4千万円の増】

諸収入等 病院の不良債務圧縮のため繰り出す財源として、基金の繰り入れなどを実施するため増加【13億4千万円の増】

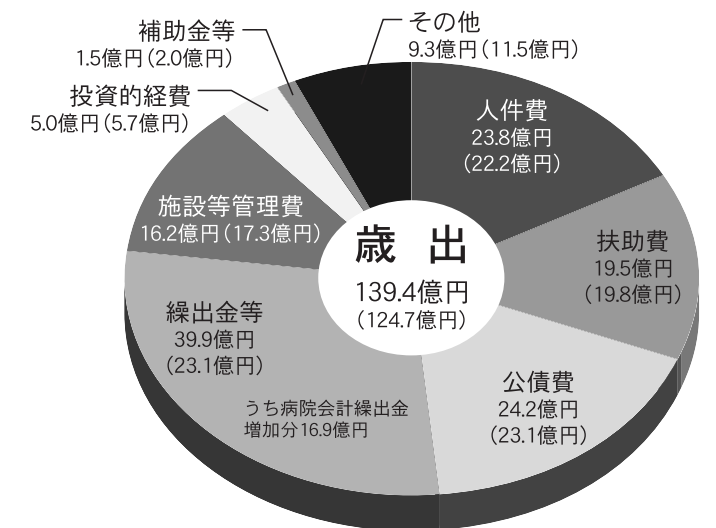
歳出の特徴【 】は昨年度比

人件費 職員数や給与費の削減による減少と退職手当の増加【1億6千万円の増】

公債費 高金利の公的資金の繰上償還などによる増加【1億1千万円の増】

繰出金等 病院会計の不良債務を圧縮するための繰出金などの増加【16億8千万円の増】

人件費は、市長や職員の給与費と嘱託職員・議員・各種委員の報酬の合計額となっています。(共済費・社会保険料含む)



連結実質赤字比率については次ページで説明しています。

【病院会計への繰出金15億円の財源】

- ・基金(貯金)の取崩し【表1】
- ・基金からの借入【表1】
- ・土地開発公社貸付金収入 3億4千万円
- ・その他 職員給与の削減や事務事業の見直しにより財源を確保。

病院会計に対しては、15億円のほか、通常の繰出金にさらに1億9千万円増額しています。(救急・小児科・産婦人科分)

財政再生団体の回避

一般会計の予算額は、前年度比14億7千万円(11.8%)増の139億4千万円となりました。

この増額は、平成20年度決算より導入される連結実質赤字比率の平成19年度見込み数値が、財政再生団体の基準である40%を超え、平成20年度も更に上回る見込みであることから、病院会計の多額の不良債務を圧縮するために一般会計から基金などを活用して15億円を繰出し、連結実質赤字比率を32.3%に引き下げ、財政再生団体転落の回避を図りました。

【表1】基金取り崩し等による財源対策の状況と基金残高 (百万円)

積立目的金	H20年度 財源対策	H18 末残	H19 末残	H20 末残	説明
財政調整基金	80	8	89	6	不測の事態に備え、財源に余裕がある年度に蓄えている基金
減債基金	370	0	370	0	市債(借金)返済の財源として蓄えている基金
公共施設整備基金	290	311	313	29	公共施設整備のために蓄えている基金
社会福祉振興基金	-	161	174	188	社会福祉のために蓄えている基金
その他の基金	-	71	74	74	
合計	740	551	1,020	297	